

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社熊本リビング新聞社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		役員、管理職、業務責任者が出席する会議を毎週開催し、各部のミーティング等で各部門へ通達するなど情報を共有している。										8	9																17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		弊社の基本理念の中に社会貢献を果たす重要性を明記しており、毎月初めには交通法規の順守を促す一斉メールを発信する仕組みを構築している。																									16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		就業規則内において、会社の名誉または信用を傷つける行為、取引先の機密を漏らす行為等を禁じるなど公正な行動を遵守事項として記載し周知している。														10											16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		発行している情報紙の影響を社員が認識し、読者保護を前提とした掲載基準をもとに、不明な点は法令、関係機関の見解を参考に担当部署が協議のうえ実行している。																									16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		情報紙を発行する上で、特許・商標・著作権などの侵害に関する法令を遵守するよう入社時に研修を行っている。										8.2 8.3	9																
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		公式ホームページに個人情報保護方針を公開。また、入社時に研修および周知を行っている。取得した個人情報は適切に管理・廃棄している。																									16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		自社ホームページにお問い合わせフォームを設置し適宜対応している。会社の活動方針については、株主総会、取締役会を通じて理解を得ている。																								16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5						8		10			12	13	14	15	16	17						
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●															9			11			13.1					16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9														17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2			5				8				12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則内において、全ての社員は、共に働く他者を業務遂行上のパートナーと認識し、職場における健全な秩序ならびに協力関係を保持する義務を負うことを明記している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3											16.1 16.2 16.7				
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		労働環境の整備や従業員の健康管理等の把握、改善に積極的に取り組んでいる。			3							8.8																	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員の公正な待遇を行っている。					5.5						8.5		10.2 10.3														
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		各自の業務の進捗状況を可視化し、状況を把握することで上長が適宜指示している。時間外勤務の管理、有給休暇取得の奨励を行っている。			3		5.5					8.5 8.8		10.3															
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		ネットワーク社との合同研修で視野を広げている。必要に応じて外部の研修会に参加している。				4	5.5					8	9																
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社内全域禁煙にし、健康診断、インフルエンザ予防接種の経費負担をしている。社会保険協会の施設利用情報の案内している。			3							8															17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		管理職の男女比率が同じであり、多くの女性が活躍している。定年後再雇用の運用も行っている。				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3												16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		web会議を積極的に利用している。パーティションを全ての箇所に設置して、常に換気の徹底を行っている。			3							8	9.1		11	12													
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●													8	9.1		11	12												
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4						8	9				12											

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社熊本リビング新聞社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		業務上生じた廃棄物は分別し、専門業者に処理を委託している(有害化学物質は発生しない)。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		LED照明を使用し、こまめに消灯している。 【予定】2022年1月より電気使用量を把握した上で、社内に周知し、節電に取り組む。						7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		クールビズ、ウォームビズを実施している。 空調の省エネに取り組んでいる。 【予定】2022年1月より、簡易計算シートを用いてCO2排出量の算出に取り組む。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		熊本市が進めている「NEO GREEN PROJECT」のスポンサー花壇事業に協賛することで一部の花壇維持に協力している。ゴミの分別、レジ袋などの使用量削減に努めている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		コピー用紙の使用量を減らし、裏紙利用を行っている。iPadを支給し、会議資料等のデータ化に努めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水資源の大切さを認識し、節水に努めている。年に一度、江津湖清掃ボランティアに参加している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		備品の購入はグリーン商品を優先的に選んでいる。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●							6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		レジ袋の使用を減らし、マイバッグの利用促進を従業員へ周知している。 社内の給湯室利用により、少しでもプラスチックゴミを出さず、環境汚染への影響がないように意識して行動をしている。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●		取材などは、可能な範囲で、公共交通機関等での移動をしている。 社有車は比較的燃費が良いハイブリッド車を利用している。								9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

